

令和6年4月1日

緩和ケアセンター専任医師の仲間を募集しております。

がん疾患新規依頼が900件(がん拠点病院平均200件)を越えていることに加え、非がんの慢性疼痛、循環器科や小児科の非がん疾患の専門的緩和ケアの拡充も願っており、若干名の緩和ケア医の受け入れを準備しております。

これまでの専門科は問いません(現在も放射線読影を専門とされる医師が研修しています)。どのような研修内容を希望されても、それに応えられると考えております。在宅緩和ケアの兼務も可能です。

医師3年目から12年目までの比較的若い年代の先生方を希望しておりますが、適宜お問い合わせ下さい。施設見学等も随時行っていますので、お気軽にご連絡ください。

連絡先:蓮尾英明(はすおひであき)(hasuohid@hirakata.kmu.ac.jp)

HP:https://hp.kmu.ac.jp/treatment/departments/palliative_care

入院がん患者へのチーム介入を主軸に、外来(痛み・つらさ外来、サイコオンコロジー外来、リンパ浮腫外来、遺族・家族ケア外来)、入院(緊急時の緩和ケアチーム担当病床)を担当頂きます。関わりは、身体・精神症状の緩和、がん支持療法、意思決定支援、終末期ケアなど、多岐に渡ります。

特徴は、以下の3つです。

- ① 臨床推論・病態理解を大切にしており、その中で主治医と連携して薬物治療や神経ブロック治療といった介入を積極的に行っています(介入型チーム)。
- ② 全人的医療を視点とした相互作用を大切にしており、サイコオンコロジー、専任心理士等と連携した介入を積極的に行っています(医心連携)。
- ③ 競争的外部研究資金下の個人研究、多施設共同研究、他職種協働研究を多数しております(臨床研究・英語論文執筆を学ぶことができます)。

- ・日本緩和医療学会の認定研修施設であり、専門医取得は可能です。
- ・日本サイコオンコロジー学会登録医取得も可能です。
- ・医師3年目の方は、内科専門医研修プログラムもしくは総合診療専門研修プログラムのなかで研修を受けて頂くことも可能です。
- ・並行して心療内科・総合診療科の研修をして頂くことも可能で、それに関連した専門医取得も目指すことができます(日本心身医学会専門医等)。